



美しい海を守る耕土流出防止の取組

ぎのぞそん

きのぞそん

宜野座村農地・水・環境保全組織（沖縄県宜野座村）

- 当地域は、勾配が急なほ場において、大雨のたびに土壌の流出により耕土が減少するとともに、この耕土が海に流出することで、貴重な珊瑚の生息地である美しい海が赤色に染まり、自然環境や水産業に悪影響を及ぼしている。
- このため、農業者及び地域住民が危機意識を持ち、地域で定期的に農地パトロールを行い、排水路や沈砂池の土砂をさらって農地に還元している。また、亜熱帯地域に生息する多年草である月桃（げっとう）によるグリーンベルトの植栽・管理も行っている。総面積は630m²であり、県内の約3割を占めている。
- 加えて、グリーンベルトの管理作業で発生した刈草は、チップにしてマルチング材として活用し、これにより場が保護され、赤土流出防止に更なる効果が発揮されている。

【地区概要】

- ・取組面積 467ha
（畑447ha、草地20ha）
- ・資源量 開水路113.0km、農道53.6km、
ため池 2箇所
- ・主な構成員
農業者、非農業者、自治会、
青年会、婦人会、子供育成会 等
- ・交付金 約10百万円（H29）

（農地維持支払
資源向上支払（共同））

排水路・沈砂池の土砂を 農地へ還元



降雨後の海の様子（赤土流出）



排水路の土砂の浚渫

梅雨入前や、台風前などに巡回をし、
優先順位をつけて浚渫作業を実施。

グリーンベルトの設置による耕土流出防止の取組で「美しい海へ」

①グリーンベルトの維持管理



月桃（げっとう）の植栽



月桃（げっとう）によるグリーンベルト
（総面積630m²）

②刈草をチップにして マルチング材として活用



月桃（げっとう）のチップ加工



耕土流出防止のため
ほ場末端部にマルチング